

# 2016 年度数学教育学会夏季研究会(関西エリア)

## 目 次

日 時 2016 年 6 月 12 日 (日) 9:30-17:15  
場 所 四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

プログラム

9:00 受付

9:30 一般発表 (9 件)

- ① 種村 篤 (京都府立豊学校)  
「聴覚障害児と数学教育—障害認識と対策の研究 (その 1) —」
- ② 今西雅次 (京都大学大学院博士後期課程)  
「重複全盲生徒を対象とした展開図指導の実践報告  
～具体的形態の触察を通して～」
- ③ 太田直樹 (福山市立大学)  
「積み木遊びからみる乳児期の図形認識の芽生え」
- ④ 西澤 智 (四天王寺大学: 学部生), 廣瀬隆司 (四天王寺大学)  
「算数教育の「数と計算」領域における児童の審美性認識に関する尺度開発」
- ⑤ 下野宗紀 (岐阜県教育委員会)  
「岐阜県における授業改善に向けた実践 ～“ICTの活用”と  
“大学入試問題を扱ったアクティブ・ラーニング”～」
- ⑥ 荒川公則 (岐阜県立飛騨高山高等学校), 下野宗紀 (岐阜県教育委員会)  
「ゲームの要素を取り入れた二次関数の課題探究型授業の一提案」
- ⑦ 今野 晃 (早稲田大学大学院博士後期課程)  
「力学的解釈による教材開発研究 - 物理学にモデルを作って -」
- ⑧ 西川恭一 (大阪府堺市立新金岡小学校), 富永雅 (大阪教育大学)  
「金岡小学校小学教法が示す明治初期の教育実践」
- ⑨ 河合真美 (東大阪市立楠根中学校), 二澤善紀 (佛教大学)  
「関数概念についての基礎研究—事象から変量を抽出する能力について」

12:30 昼食

13:15 一般発表 (7件)

- ⑩ 佐伯源太郎 (神戸大学附属中等教育学校, 神戸大学大学院生)  
「関数理解の困難性 ～対応関係・変数等の調査から～」
- ⑪ 稲葉芳成 (立命館宇治高等学校), 黄瀬正敏 (海陽中等教育学校),  
竺沙敏彦 (城陽市立南城陽中学校)  
「中学生を対象とした数学的モデリング・チャレンジプログラムの記録  
ーモデリング・チャレンジの評価・審査についての課題ー」
- ⑫ 古谷公一 (鳴門教育大学大学:院生), 廣瀬隆司 (四天王寺大学),  
坂井武司 (京都女子大学)  
「算数教育における教師の授業実践力の改善」
- ⑬ 及川久遠 (西日本工業大学)  
「2次関数とその応用の指導について」
- ⑭ 大石明德 (大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎)  
「高校生の“無限”に関する認識について(その1)」
- ⑮ 鈴木桜子 (昭和大学)  
「大学初年次の授業研究～確率・統計の授業実践から」
- ⑯ 中西秀晃 (京都教育大学附属桃山中学校), 柳本 哲 (京都教育大学)  
「言語活動を通して表現力を育てる数学の授業実践」

15:40 シンポジウム「改めて問う数学教育における“実践”の意味」

コーディネーター

- ・ 廣瀬隆司 (四天王寺大学)  
「数学教育における実践上の問題点」

パネリスト

- ・ 坂井武司 (京都女子大学)  
「数学教育における実証的研究の意義」
- ・ 長谷川勝久 (東洋大学), 今井智貴 (東洋大学大学院),  
畠野真理子 (東洋大学大学院)  
「実践力を育成するための教員養成の在り方  
ー往還型教育システムを通してー」
- ・ 佐久間 大 (東京工業大学大学院), 紗瀬川勝久 (東洋大学)  
「児童生徒の実態イメージカードを用いた模擬授業のデザイン  
ー算数教育における実践的指導力を高める試みの一事例」
- ・ 藤田英治 (大阪府堺市立浅香山小学校)  
「算数科における情意面を重視した問題解決と言語活動の活性化  
ー協働的問題解決における対話の組織化ー」

17:15 閉会